

園芸生産学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 小池安比古・河合義隆・峯 洋子・藤澤弘幸

◆学習・教育目標

前期課程においては、これまでの学部諸講義・実験・演習や卒論研究で得られたことを一層深化させ、園芸作物の効率的な高品質・安定生産の展開を目指して、生産・技術上の問題点や研究成果に関する高い学識を磨くと同時に、実学的で独創的な修士論文研究の展開を図る。園芸生産学特論演習Ⅱでは、園芸生産学特論演習Ⅰに続いて、各自の修士論文の研究課題に関する内外の研究蓄積を学び、目的・目標・手法・考察を明確化することを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

園芸学	園芸研究	園芸生産	高品質生産
安定・持続生産	省力的生産	心身の健康	環境制御

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	本演習の進め方	修士論文研究を円滑に進めるために必要な講義を行う。 加えて、受講者による修士論文についての研究計画や経過報告を行い、教員・学生間で互いに討議する。
2	園芸研究の最新事情 (1)	園芸研究の最新事情についての解説	
3	園芸研究の最新事情 (2)	園芸研究の最新事情についての解説	
4	園芸研究の最新事情 (3)	園芸研究の最新事情についての解説	
5	園芸研究の調査事例 (1)	野菜の調査・研究事例の解説 (国外)	
6	園芸研究の調査事例 (2)	果樹の調査・研究事例の解説 (国外)	
7	園芸研究の調査事例 (3)	花卉の調査・研究事例の解説 (国外)	
8	研究関連論文の調査発表 (1)	修士論文に関する研究論文の紹介と解説	
9	研究関連論文の調査発表 (2)	修士論文に関する研究論文の紹介と解説	
10	研究関連論文の調査発表 (3)	修士論文に関する研究論文の紹介と解説	
11	研究関連論文の調査発表 (4)	修士論文に関する研究論文の紹介と解説	
12	修士論文成果発表 (1)	修士論文研究の成果を発表	
13	修士論文成果発表 (2)	修士論文研究の成果を発表	
14	修士論文成果発表 (3)	修士論文研究の成果を発表	
15	修士論文成果発表 (4)	修士論文研究の成果を発表	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

園芸学用語集・作物名編/園芸学会/養賢堂（2005年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

各担当から与えられた課題に対するレポートの提出およびその発表をもって評価する。

◆その他受講上の注意事項

受講生による発表は、学会発表などのトレーニングの場でもあるので、入念に準備をして臨むこと。